

農業法人誘致マッチングシート ※農業法人提供用 伊豆の国市

地域名	大仁地区	市町の位置図 (添付参照)									
1 地域の誘致戦略 ・耕作放棄地を有効活用したい。 ・担い手への集積・集約を進めたい。 ・有機農業の推進を図りたい。											
2 受入候補地域・農地の概要 <table border="1"> <tr> <td>地域の魅力</td> <td> ・温暖多湿で日照時間にも恵まれています。 年平均気温 16.6℃、年平均降水量 1800～1900 mm、年平均日照時間は 2075 時間 ・南北に流れる狩野川が伏流水をもたらし、10mほどほと地下水を汲み上げることができます。 ・東京から 100 km 圏域にあり、2 時間ほどで大消費地と結びついています。 ・近接地区（車で 10 分程度）に県内でも有数の施設栽培によるいちごとミニトマトの産地があり、いちごとミニトマトであれば、生産技術から出荷先まで相談体制が整っています。 </td> </tr> <tr> <td>農地の情報</td> <td>地区内には、57.6ha の農地があります。5ha を超える集団化した農地はありませんが、営農希望規模に応じて、臨機応変に対応することが可能です。農地の多くは水田ですが、一部畑や施設栽培がおこなわれているほ場も存在しています。</td> </tr> <tr> <td>農地所有者との調整</td> <td>事前に農地所有者のアンケート調査を実施しておりますので、貸付希望と回答した農地所有者には、市や農業委員会が事前にヒアリングを実施することが可能です。</td> </tr> <tr> <td>ほ場環境</td> <td> ・ほぼ全ての農地に農業用水が引かれています。 ・ほ場の区画は 1 反ほ場が多いですが、場所によってはそれより狭い区画のところも点在しています。 ・個人所有のほ場が多く、水田が多いため、「あいちのかおり」・「にこまる」・「にじのきらめき」をはじめとした水稻栽培が行われています。 </td> </tr> <tr> <td>関連施設</td> <td>地区内に農産物の直売所があり、交渉次第で出荷先の確保が可能です。</td> </tr> </table>			地域の魅力	・温暖多湿で日照時間にも恵まれています。 年平均気温 16.6℃、年平均降水量 1800～1900 mm、年平均日照時間は 2075 時間 ・南北に流れる狩野川が伏流水をもたらし、10mほどほと地下水を汲み上げることができます。 ・東京から 100 km 圏域にあり、2 時間ほどで大消費地と結びついています。 ・近接地区（車で 10 分程度）に県内でも有数の施設栽培によるいちごとミニトマトの産地があり、いちごとミニトマトであれば、生産技術から出荷先まで相談体制が整っています。	農地の情報	地区内には、57.6ha の農地があります。5ha を超える集団化した農地はありませんが、営農希望規模に応じて、臨機応変に対応することが可能です。農地の多くは水田ですが、一部畑や施設栽培がおこなわれているほ場も存在しています。	農地所有者との調整	事前に農地所有者のアンケート調査を実施しておりますので、貸付希望と回答した農地所有者には、市や農業委員会が事前にヒアリングを実施することが可能です。	ほ場環境	・ほぼ全ての農地に農業用水が引かれています。 ・ほ場の区画は 1 反ほ場が多いですが、場所によってはそれより狭い区画のところも点在しています。 ・個人所有のほ場が多く、水田が多いため、「あいちのかおり」・「にこまる」・「にじのきらめき」をはじめとした水稻栽培が行われています。	関連施設
地域の魅力	・温暖多湿で日照時間にも恵まれています。 年平均気温 16.6℃、年平均降水量 1800～1900 mm、年平均日照時間は 2075 時間 ・南北に流れる狩野川が伏流水をもたらし、10mほどほと地下水を汲み上げることができます。 ・東京から 100 km 圏域にあり、2 時間ほどで大消費地と結びついています。 ・近接地区（車で 10 分程度）に県内でも有数の施設栽培によるいちごとミニトマトの産地があり、いちごとミニトマトであれば、生産技術から出荷先まで相談体制が整っています。										
農地の情報	地区内には、57.6ha の農地があります。5ha を超える集団化した農地はありませんが、営農希望規模に応じて、臨機応変に対応することが可能です。農地の多くは水田ですが、一部畑や施設栽培がおこなわれているほ場も存在しています。										
農地所有者との調整	事前に農地所有者のアンケート調査を実施しておりますので、貸付希望と回答した農地所有者には、市や農業委員会が事前にヒアリングを実施することが可能です。										
ほ場環境	・ほぼ全ての農地に農業用水が引かれています。 ・ほ場の区画は 1 反ほ場が多いですが、場所によってはそれより狭い区画のところも点在しています。 ・個人所有のほ場が多く、水田が多いため、「あいちのかおり」・「にこまる」・「にじのきらめき」をはじめとした水稻栽培が行われています。										
関連施設	地区内に農産物の直売所があり、交渉次第で出荷先の確保が可能です。										

受入候補地の位置図

<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/nourin/chiikikeikaku.html>

を参照ください。

3 農業法人に求める条件

法人の探索順位（優先順位）	市内・近隣地域・県内・県外の順で農業法人を誘致します。
作目・品目	作付品目は問いませんが、5年以内に本市の農業改善計画認定基準を達成可能であることを求めます。
耕作面積	面積規模は問いませんが、5haを超える集団化した農地はありません。しかし、営農希望規模に応じて、臨機応変に対応することは可能です。必須条件ではありませんが、耕作放棄地を解消しながら、ほ場を確保していく法人を優先します。
その他特記事項	ほ場にハウス等の建築物を建てる場合やほ場の形状を変える場合には、地元への説明を求めます。 上記の内容に合致しない場合であっても、農業法人から打診があれば臨機応変に対応します。

4 市町による支援内容

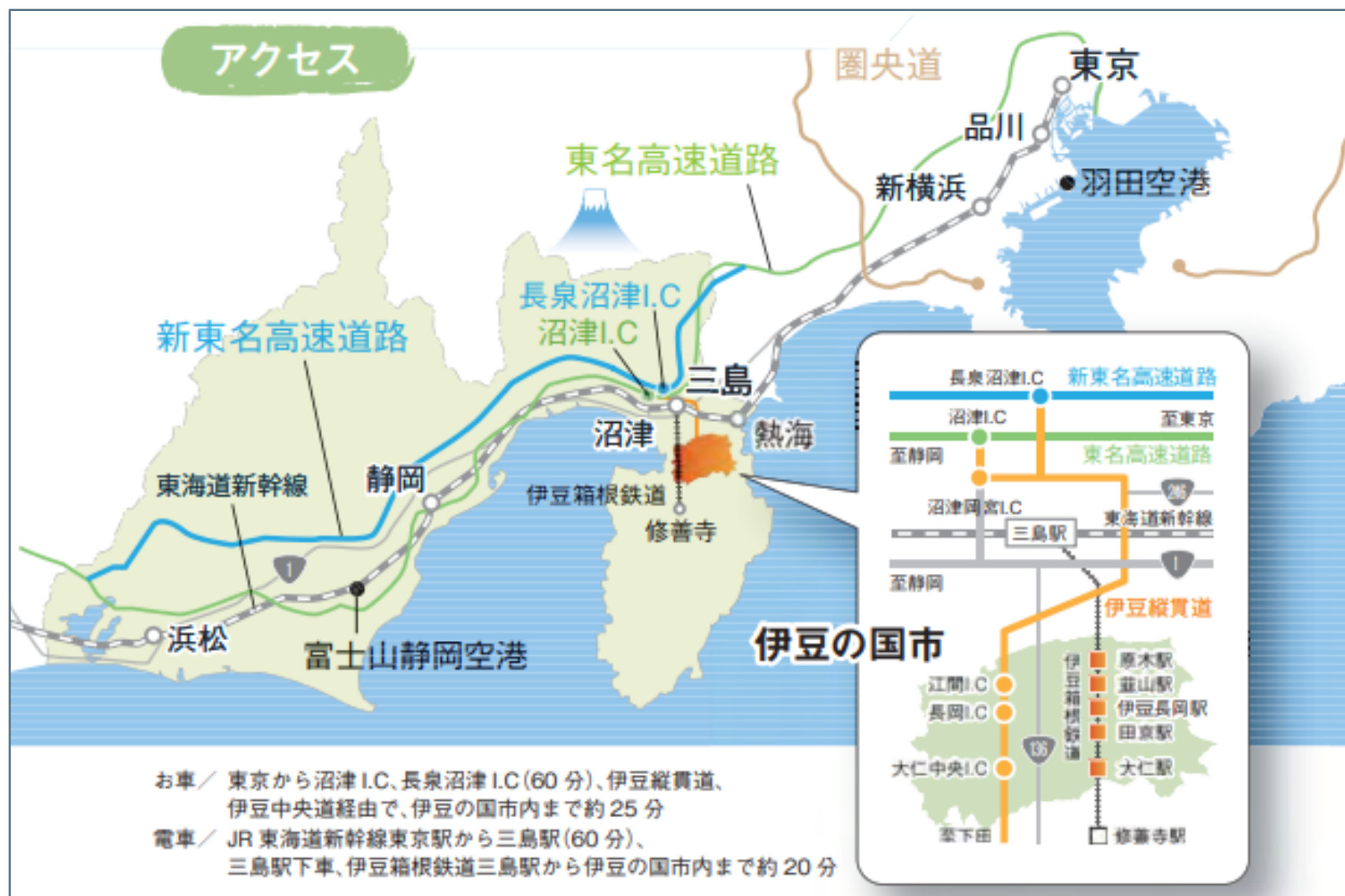
農地確保の支援	農業法人と農地所有者との交渉に立合います。
営農開始初期の支援	・農業法人から地域向けの説明会の開催を支援します。 ・必要に応じて、JAや農業委員会との意見交換の場を設けます。
定着に向けた支援	・農業経営改善計画認定まで、営農上の相談指導を行います。 ・一定規模に達するまで、農地の追加確保を支援します。 ・農業経営改善計画認定の事務手続きを農業法人に対し明確に示します。
その他	

（作成上の留意点）

※農業法人へ提供する資料です。記載項目は必要に応じて変更してください。

※地図、写真など提供可能なものであることを確認の上使用してください。

アクセス



農業法人誘致マッチングシート ※農業法人提供用 伊豆の国市

地域名	大仁中山間地区		市町の位置図 (添付参照)									
1 地域の誘致戦略 ・耕作放棄地を有効活用したい。 ・担い手への集積・集約を進めたい。 ・有機農業の推進を図りたい。												
2 受入候補地域・農地の概要 <table border="1"> <tr> <td>地域の魅力</td> <td> ・温暖多湿で日照時間にも恵まれています。 ・標高は 200m～400m ほどです。 ・中山間地ではあるが、比較的傾斜地よりも平坦地の農地が多い。 ・地域によっては、中山間地を生かした、きれいな水を利用することができます。 ・東京から 100 km 圏域にあり、2 時間ほどで大消費地と結びついている。 </td> </tr> <tr> <td>農地の情報</td> <td>地区内には、122.1ha の農地があります。10ha を超える集団化した農地はありませんが、営農希望規模に応じて、臨機応変に対応することが可能です。</td> </tr> <tr> <td>農地所有者との調整</td> <td>事前に農地所有者のアンケート調査を実施しておりますので、貸付希望と回答した農地所有者には、市や農業委員会が事前にヒアリングを実施することが可能です。</td> </tr> <tr> <td>ほ場環境</td> <td> 1 田中山地区 ・ほ場は全て畑であり、水田はありません。 ・農業用水は引かれていません。 ・夏はすいか、冬はだいこんが中心に栽培されています。 ・地区において、畜産業が営まれており、ほ場は牧草地として活用されているところがあります。 2 下畑・浮橋・田原野地区 ・ほ場の約 6 割が水田、約 4 割が畑であり、水田地と畑地は物理的に離れています。 ・水田地には、農業用水が引かれています。 ・ほ場の区画は 1 反に満たないほ場が多いです。 ・個人所有のほ場が多く、水田は、「こしひかり」をはじめとした水稻栽培が行われています。畑は、季節に応じ、小規模多品種生産が中心です。 ・一部のほ場では、小麦・そばの生産が行われています。 </td> </tr> <tr> <td>関連施設</td> <td>地区内に農産物の直売所があり、交渉次第で出荷先の確保が可能です。</td> </tr> </table>				地域の魅力	・温暖多湿で日照時間にも恵まれています。 ・標高は 200m～400m ほどです。 ・中山間地ではあるが、比較的傾斜地よりも平坦地の農地が多い。 ・地域によっては、中山間地を生かした、きれいな水を利用することができます。 ・東京から 100 km 圏域にあり、2 時間ほどで大消費地と結びついている。	農地の情報	地区内には、122.1ha の農地があります。10ha を超える集団化した農地はありませんが、営農希望規模に応じて、臨機応変に対応することが可能です。	農地所有者との調整	事前に農地所有者のアンケート調査を実施しておりますので、貸付希望と回答した農地所有者には、市や農業委員会が事前にヒアリングを実施することが可能です。	ほ場環境	1 田中山地区 ・ほ場は全て畑であり、水田はありません。 ・農業用水は引かれていません。 ・夏はすいか、冬はだいこんが中心に栽培されています。 ・地区において、畜産業が営まれており、ほ場は牧草地として活用されているところがあります。 2 下畑・浮橋・田原野地区 ・ほ場の約 6 割が水田、約 4 割が畑であり、水田地と畑地は物理的に離れています。 ・水田地には、農業用水が引かれています。 ・ほ場の区画は 1 反に満たないほ場が多いです。 ・個人所有のほ場が多く、水田は、「こしひかり」をはじめとした水稻栽培が行われています。畑は、季節に応じ、小規模多品種生産が中心です。 ・一部のほ場では、小麦・そばの生産が行われています。	関連施設
地域の魅力	・温暖多湿で日照時間にも恵まれています。 ・標高は 200m～400m ほどです。 ・中山間地ではあるが、比較的傾斜地よりも平坦地の農地が多い。 ・地域によっては、中山間地を生かした、きれいな水を利用することができます。 ・東京から 100 km 圏域にあり、2 時間ほどで大消費地と結びついている。											
農地の情報	地区内には、122.1ha の農地があります。10ha を超える集団化した農地はありませんが、営農希望規模に応じて、臨機応変に対応することが可能です。											
農地所有者との調整	事前に農地所有者のアンケート調査を実施しておりますので、貸付希望と回答した農地所有者には、市や農業委員会が事前にヒアリングを実施することが可能です。											
ほ場環境	1 田中山地区 ・ほ場は全て畑であり、水田はありません。 ・農業用水は引かれていません。 ・夏はすいか、冬はだいこんが中心に栽培されています。 ・地区において、畜産業が営まれており、ほ場は牧草地として活用されているところがあります。 2 下畑・浮橋・田原野地区 ・ほ場の約 6 割が水田、約 4 割が畑であり、水田地と畑地は物理的に離れています。 ・水田地には、農業用水が引かれています。 ・ほ場の区画は 1 反に満たないほ場が多いです。 ・個人所有のほ場が多く、水田は、「こしひかり」をはじめとした水稻栽培が行われています。畑は、季節に応じ、小規模多品種生産が中心です。 ・一部のほ場では、小麦・そばの生産が行われています。											
関連施設	地区内に農産物の直売所があり、交渉次第で出荷先の確保が可能です。											

受入候補地の位置図

<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/nourin/chiikikeikaku.html>

を参照ください。

3 農業法人に求める条件

法人の探索順位（優先順位）	市内・近隣地域・県内・県外の順で農業法人を誘致します。
作目・品目	作付品目は問いませんが、5年以内に本市の農業改善計画認定基準を達成可能であることを求めます。
耕作面積	面積規模は問いませんが、10haを超える集団化した農地はありません。しかし、営農希望規模に応じて、臨機応変に対応することは可能です。必須条件ではありませんが、耕作放棄地を解消しながら、ほ場を確保していく法人を優先します。
その他特記事項	ほ場にハウス等の建築物を建てる場合やほ場の形状を変える場合には、地元への説明を求めます。 上記の内容に合致しない場合であっても、農業法人から打診があれば臨機応変に対応します。

4 市町による支援内容

農地確保の支援	農業法人と農地所有者との交渉に立合います。
営農開始初期の支援	・農業法人から地域向けの説明会の開催を支援します。 ・必要に応じて、JAや農業委員会との意見交換の場を設けます。
定着に向けた支援	・農業経営改善計画認定まで、営農上の相談指導を行います。 ・一定規模に達するまで、農地の追加確保を支援します。 ・農業経営改善計画認定の事務手続きを農業法人に対し明確に示します。
その他	

（作成上の留意点）

※農業法人へ提供する資料です。記載項目は必要に応じて変更してください。

※地図、写真など提供可能なものであることを確認の上使用してください。

アクセス

